

まんさく

第287号

発行

特別養護老人ホーム光寿苑
まんさく編集委員会
和賀郡西和賀町湯本30-76-1
TEL 0197-84-2526
koujhu@fancy.ocn.ne.jp
題字 元理事長 太田 祖 電



【287号もくじ】

☆2～3頁★

* 新年度心得・事業計画

☆4頁★

* 今生より往く

* 寄附・寄贈・訪問等 ご紹介

☆5頁★

* 想…「災害を捉える」

☆6頁★

* 地域密着型事業紹介

☆7頁★

* 「共生の場」へようこそ！

* 震災12年の彼岸会

☆8頁★

* 「光寿苑の日々」(4コマ漫画)

* 「自然法爾」(お寺さんのお話)

* 「おわりに」



夜間防災総合訓練 [令和5年3月23日実施]

訓練後の活発なQ&Aによる『思考の防災訓練』も深められた。

初代から継承された基本理念と今の私達に合わせた心得と事業計画です



光寿会基本理念



『生きる意味』を発見し合える道場にしよう

- (1) 寝たきりに近い状態で、一生を苑生活で閉じようとしている方が多いわけで、その方々との共同生活の中で、寝たきりであっても「生きる意味」に何の遜色も無いことを発見すべきである。それは、「職員からお年寄りへの愛」というだけの人間関係ではなく、お年寄りから職員への心づかい、愛などによって、初めて福祉職員として働いていられることを忘れないことである。
- (2) お世話する者とされる者という関係ではなく、むしろお年寄りに何かを学ぶという職員、そういう関係でありたい。

*** 光寿会職員心得…2023 ***

精神面 『手本にはなれなくても 見本にはなれる』

「人の手本に成れ」…日本人の教育方針として長く言い伝えられてきた言葉。誰かを手本として人の成長は継承されてきたものでしょう。手本に成るという事はそれだけの高品質な人間性が問われてきます。それだけ言えば、限られた人材のようにつつまぬかも知れませんが、「見本」であればいかがでしょう。1人1人の良い所も悪い所も丸ごと見本に成る。見本を観て、またお互いに検証して日々を修正していく1年としましょう。

① 自分がされて嫌なことはしません、させません。

自分が『不快に思う事、嫌がる事』を相手にしない!という意識で常に振り返りましょう。相手にとって本当に嫌な事は何なのか、遠慮して言わせなくしていないだろうか等、点検してみましょう。

② 誰がいてもいなくても、裏表のない言葉づかいと対応をします。

周りに人が居ない時に手を抜く、態度が変わるのは光寿会スピリッツではありません。手を抜けば、後に自分に返ってきます。「自利利他」、互いを尊びあう関わりが循環する事を肝に銘じましょう。

③ ジェンダー平等の心得を持ちながら職場での役割を見直します。

男女の性質的違いは理解しつつ、「〇〇らしさ」等の先入観や偏見を脱却して、不平等な役割づくりは発生していないか?ハラスメント防止等、見直す時間を持ちましょう。最後は相手を尊ぶ心で。

④ 考えにズレが出た時こそ、相手を“よく知ろうとする”姿勢で臨みます。

コミュニケーション不足とそれに伴う先入観と偏見が負のスパイラルを引き起こします。エラーが起こった際にも対話と確認をして、相手(お年寄りや職員等)をよく理解して関わります。

⑤ 『あいさつの心得』と『3つの基本姿勢』の意識で務めていきます。

当会が長く大切にしてきた表題の心得と基本姿勢(別頁参照)。自分の姿勢を振り返る上でも大切なものです。言葉・対応・接し方等、定期的に振り返りながら、気持ちのいい環境づくりに努めましょう。

～ シンプルでありながら大切なこの心得を皆で実践していきましょう ～

令和5年4月1日

令和5年度『光寿会事業計画』

① 経営感覚を持ちながら利用者受け入れ増に努めます！

経営感覚のない事業存続は困難。収入あってこそ支出が可能となるあたり前の仕組みを意識して利用受入れ増を果たしたい。ショートステイ利用の安定化、ひなたぼっこ通い利用者の増。入居ベッドを満たすサイクルの確立。

【お互いの役割と状況を理解しながら皆で仕事を支える効果】

② 実状の人員体制に合わせて地域ニーズに応えます！（継続）

地域ニーズに応えるため、短期入居事業は R4 年度同様『水～金開所』『4名受入れ』を基本にする等、限定的対応を継続。新人職員や外国人労働者の育成を経て、夜勤対応職員の増をはかった上で受入れ人数増へ向かいたい。

【実状の人員体制を工夫しながら運営持続可能とする効果】

③ ウィズコロナ、お年寄りの^{けんこう}笑顔の時間を増やします！

お年寄りが心から笑顔になれる健康的な時間であるご家族との対面面会（制限付きでは実施中）、自宅への外出、お祭り行事等の開催をどうすれば施設で実現できるか？情報収集と感染対策を講じた上での計画から再出発したい。

【過剰なリスク管理に偏らない発想で取り組めるチーム効果】

④ 脱！病院化対応…生活の場のケアを再構築します！

5月より嘱託医が変わる。回診は毎週火曜日へ変更。嘱託医により光寿苑のお年寄り情報がしっかりデータ化され、治療必要時は迅速に入院対応を図る等、光寿苑での医療行為が軽減される。生活の場のケア再構築を皆で！

【医療行為の軽減によりお年寄りの QOL に重きを置く効果】

⑤ 明日の担い手に出遇える場づくりに貢献します！（継続）

町と町内事業所の協働で取組んでいる小中高校での介護の魅力化事業 4 年目。実話を基にした寸劇や介護のプラス志向の新 3K を通じ、児童・生徒が介護に良いイメージを持ってもらえる様に臨む。外国人特定技能労働者の確保。

【介護の楽しさ・豊かさを働く私達が自ら発信し深める効果】

『今生より往く』



全てを受容する笑顔は皆のオアシス

快活な性格で周囲を元気づけた母心



高橋キヌ子さん【99歳】

『童子(わらわ)だあ、帰ったか!』と家族を案じて、仏間で手を合わせている姿は仏様の様でした。とても穏やかなお人柄でしたね。最後の時まで笑顔で応じてもらえたこと、こちらが元気づけられていました。笑顔、引き継げたらと思います。ありがとうございます。

《米澤 真由美》

平澤 キワさん【88歳】

照れくさそうに笑みを見せながら、大好きな歌を聴かせてくれたキワさん。歌声がやさしかったです。また、ご家族のお話をされている時のニッコリと微笑まされる時の顔が好きでした。人としての基本の心を教えてくれた時間も感謝です。合掌。

《高橋 直》

やさしい人柄は家族想いの熟成の形



高橋 ヤスさん【86歳】

短期入居の時から長い時間、大変お世話になりました。ゼンマイおみの話をする時のヤスさんは目を輝かせていましたね。そんなヤスさんを見て、何かを本気で言うすばらしさを感じさせられました。ステキなお方でした。ありがとうございます。

《佐々木 瞭》

おかげさまでした

ご寄附

★=光寿苑、☆=ひなたぼっこ

★ 佐々木 静夫 様 [左 草]

ご寄贈

☆ 青柳 美奈子 様 [上野々]

☆ 佐々木 正 様 [北上市]

☆ 石川 顕 様 [盛岡市]

☆ 杉谷 政行 様 [横手市]

☆ 高橋 恵美子 様 [埼玉県]

☆ 高橋 正則 様 [神奈川県]

訪 問

★ 西和賀消防署員 様 … 5名
[防災訓練指導]

面 会

[2/1~2/28]

【看取り期面会】 … 延べ11名

【対面面会】 … 延べ63名

光寿会へのご支援

想...

災害を捉える ~岩手から発信します vol.5~

『名を名乗らない誹謗中傷は災害と化す』太田宣承

SNSが飛躍的に成長した今、活用のメリットが大きくなる一方、名無しの匿名の誹謗中傷が後を絶たない。シリーズ最終稿は、当事者たちの命をも奪いかねない当問題を考えます。

▼人様の悪口や陰口は叩くもんでねえんだよ。必ず自分さ返ってくるんだからな。

私を蔑しく育ててくれた祖母が、よく語っていた教えの一つ。その教えを護ってきたつもりでいたが、気づけば陰口をしてる人を悪く言っている私がいる。祖母の教えから掛け離れている自分の実状を嘆きながらも、悪癖を捨てる事だ。って必要なんだよ。自己の正統化を主張する情けない心を観る。けれども悪癖を捨てる事は、自己内の苦悩を外に放つ動きであり、他者を傷つけようとする性質ではなく、自身の心や体を護ろうとする行為と捉えていて、時に必要な事とも言えるだろう。

一方で、他者を面白おかしく陰口したり、ネット上で全く見ず知らずの輩が特定の人を好き勝手悪く言うのはいかげなもので。勝手に枝葉をつけた情報で集団の攻撃が重ねられていく。自らは顔も実名も出さず、決して間違った事はしていないがのようない言動が増していく。ネット主流社会の今、偽りの情報がまるで事実であるか

のように拡散され、拡散の途中ですらに悪質な内容が増加されエスカレートしていく中、その情報のか風の目に入れば、その正當ではない状況下に自分が属して居る事にも気がきいていく。

▼人の振り見て我が振り直せムは昔から大切にされてきたことわざである。他の身の振り方をよく観察しながら自らの身の振り方はどうなっていたか。客観視しつつ、自省をはたらきかける意味がある。では、先述のネット上での行動はどうか。他の身の振り方を観て、悪い方に加勢してしまっている事になる。自らがあれこれ言われな

いたために、一緒になって対象者を悪者にする行為は、自己内省の機会を失っている。エスカレートしていく悪の連鎖の果てに、自決や社会生活を奪うといった最悪な事態が訪れていく。まさに人災である。ネット社会が産み出す災害は、どこまでも人が創り出すものだ。悪縁が訪れた時、しっかりと善悪の分別する事は実は難しい。自分は正しいと信じ込んで居る人は、自らの行いを点検する必要がない

ので、悪縁の中に居るとは気がきいていく。あるいは、自分が信じてやまない、例えば〇〇界のカリスマ的存在が言った事に疑いを持たないというものもある。

私や子どもの頃から笑いの師(勝手に)と思ってきた伊奈かつぱいさんは、こう語っている。

▼学校の先生だ。って全部信じちゃいけないよ。どこか間違ってるねが。って疑って聴く様にすれば、ちゃんと自分で考えるような人間が育つんだからさ。

世間話やネット、メディア上のニュースも鵜呑みにするのはなく、しっかりと自身で考え判断する事。深く関わらない事も必要と知る事。その取扱いを間違え続けられ、人を傷つけるに留まらず、自分自身すらも傷つけ、品格を損なっていく本質を、見失ってはならない。

最後は相手を尊ぶ気持ちさえ失わなければ、間違った見方や判断には繋がりなくい事を大事に知っておきたい。相手を尊ぶ心は自らを尊ぶ人と成り、良縁もまた循環して行くのだと捉えていきたい。

完

今月の登録者の方々
14 名様です♪

小規模多機能ホーム「ひなたぼっこ」
住宅型有料老人ホーム「湖畔の宿」

1ヶ月早く訪れた春に気分も♪「ひなたぼっこの日常」



左：お茶会「ペン立て作り」

右：日本財団助成金により福祉車両の贈呈式

第6回『運営推進会議』(3月15日)

※外部委員10名・職員4名出席

①新たな登録者や1名増とい

うことですが、現在はおりませ

んか、要介護5の方であつても

受け入れは可能でしょうか。

②要介護5も、その方の状態

によって判断されます。例えば

移動手段が車いすであれば受け

入れ可能ですか、寝たきり度の

高い方で全介助の方となれば、

当事業所でのサービス提供は難

しいと考えます。

③外部評価の中で、コロナ

の状況を見ながら行事への参加、

外出の機会を増やしていきたい

とあるが、実際、増えていない

という事なのか？これから増や

しますという事なのか？

④以前できていた事が中々で

きない。新型コロナ感染対策を

講ずるためには、地域の感染状

況(感染リスクがない)等を見

極めながら取り組んでいるとこ

ろです。

⑤実際には、町内巡り・ドラ

イブに行っているとは伺っています。

事業所の中だけで過ごすのでは

なく外出できて良いと思います。

日本財団より助成車両贈呈

令和5年3月31日納車となり、以下の事業完了致しました。



事業名	送迎車(普通車)の整備
車両	日産セレナ S-ハイブリッド 4WD 8名乗り
助成額	1,960,000円 (事業総額 2,450,000円)

『共生の場』へようこそ♪

【光寿苑の新しいお仲間をご紹介します】



柏崎 ナツ さん

*西和賀町
*大正のお生まれ



高橋 節子 さん

*西和賀町
*昭和のお生まれ



石川 スズ さん

*西和賀町
*昭和のお生まれ



「去る3月23日、震災12年を振り返りながら彼岸会を勤めました」
ご先祖の住む彼岸と、私たちの住む此岸の間を隔てる『三途の川』。この川は紛れもなく私たちの煩惱が産み出す迷いを川で表しています。
亡き大事な人の彼岸「浄土」とこちらの此岸「穢土」は繋がっている。
思いを馳せる貴方の所に、浄土「大事な人たち」からの願いが届いている。

震災12年の彼岸会

287号 光寿会の日々



イラスト：1000

グリーンとは、「喪失と深い悲嘆、そこから立ち直ろう(て揺れる思い)であり、この心情に対してのケアは様々ある。その一つに、ご家族自ら手をとり、亡き大切な方のお顔や手をやさしくキレイにする行為が、そのまグリーンケア入撃か。最後のお顔もケアを左右するものだ。

流罪以後、愚禿親鸞と書かしめ給う

《歎異抄》

第86回 丸田善明

自然法爾

(じねんほうに)

親鸞が越後国府に流罪されたのは35歳の時のことだ。妻の恵信尼と長子範意もこれに付き随い、日本海の「親不知」の難所を越えてたどり着いたのは北越の海浜、雪五尺の大地だった。この地で、流罪が解かれるまでの五年とその後二年を送った。この流罪体験を契機に「愚禿親鸞」と名告るようになったと、「歎異抄」は伝えている。流罪されるまでの名は「善信」だった。これは、19歳の磯長の釈福寺で蒙った聖徳太子の啓勅によるもので、師・法然上人が「志れまいザク」と名付けて下さったものだ。愚禿の「愚」は「愚かな」「禿」は「名

られた雪五尺の北越を自覚自証の道場として世親・曇鸞と出遇い、仏道を開頭して90歳を生きたということか。今年には親鸞生誕八五〇年にあたり、京都の本願寺では立教開宗を顕揚する法会が持たれるという。弄言かとも思うが、親鸞は大家と交流する現場に「道」を見いだしたということとを忘れてはならないだろう。

おわりに

先日、久しぶりに感性豊かな友と語り合う機会に恵まれた。

「寺子屋のしゃべり場とか、他でもグループワーク研修等に参加して、皆の前で思っている事を伝えられないまま終わる時があった。でも、その場で言えなくても、夜寝る時に、まあ言えれば良かったなあ。」って考える事が大事だと思ってるんですよ。その時間がある事で自分の考えを深められる感じがあるんですよね。

その場で伝えられず、後悔の念を持つ事の多い私にとっては光明が差すような言葉との出遇い。就寝時、後悔の時間ではなく、思考深められる喜びの時にしてみたい。

※人と人が膝交えて語る時は何かが生れる。